

旧三条工業山岳部生みの親

高橋小一郎さん 県内有数の山岳リーダーで活躍



県央工業高校の山岳部生みの親、高橋小一郎さん

ヒマラヤトレッキング隊員に 谷川遭難では現地で救助活動

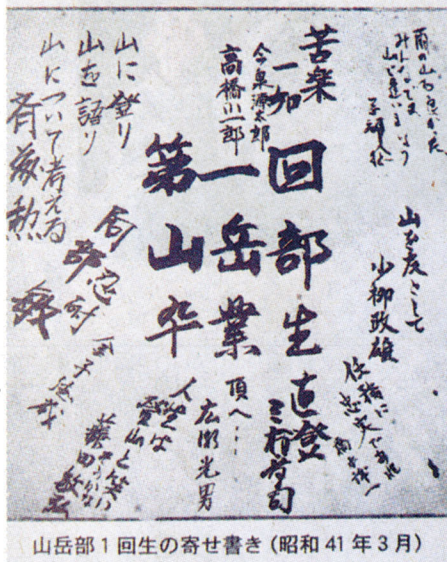
インターハイ部員を県選抜チームに イや国体

県立三条工業高校(現・県央工業高校)の教諭を務め、昭和四十年に同校山岳部を立ち上げ、同部顧問として全国大会に選手を送り出し、県高校体育連盟登山部の委員長も務めるなどした三条市篠岡、高橋小一郎さんが二十一日午後、肺炎のため、入院先の新潟市、県立がんセンター新潟病院で死去した。八十七歳だった。戦後まもなく、三条実業高校定時制の教諭として着任、高校生登山の指導に力を注いだほか、日本山岳会越後支部主催のヒマラヤトレッキングにも隊員として参加したり、谷川岳の遭難事故の救助隊として現地に出入るなど県内でも有数の山のリーダーとして知られ、慕われた人だった。

高橋さんは平成十八年努めたものの、高齢もあ三月に肺がんを発症して、日々体力が低下し、放射線治療を、さらに同二十一日午後二時七分、年十一月には右下肢急性息を引き取った。

高橋さんは昭和二十二年十月に山岳部を創設、同注ぎ、その年の大分インの年に山岳部を創設、同注ぎ、その年の大分イン

その素地は昭和二十九...



山岳部1回生の寄せ書き(昭和41年3月)

三条工業高校では着任部顧問として指導に力を注ぎ、その年の大分イン

秀峰・望月さんとともに 教え子たちは秀峰の現役

その素地は昭和二十九...

高橋さんは秀峰山岳会...



山岳部の日会総会で創部五十周年記念の感謝状を受ける高橋さん



二〇一三年十月、山岳部創部五十周年記念事業で現役部員らと谷川岳登山に参加した高橋さん(黒い雨傘の人) 当日は雨で登山中止

今日のも... 新潟県倫理法人会長岡地区、NPO法人住民安全ネットワークジャパン... 話相談(午後七時~十一時)...

二〇一三年十月、山岳部創部五十周年記念事業で現役部員らと谷川岳登山に参加した高橋さん(黒い雨傘の人) 当日は雨で登山中止



剣岳が大好きだったという高橋さん(向かって左端の当時ではハイカラなベレー帽の人が高橋さん) 昭和三十三年八月の夏季合宿



五十二年十二月に脳... うそくを発症したがリハビリに努め、腕に若干のマヒが残ってはいたものの、翌年の二学期から職場に復帰。その後、約七年勤めたあと、五十六歳で勤奨退職の道を選択。岩室温泉病院(当時)のデイケアに通いながらリハビリと療養に努めていた。

くるま探し専門店 MOBILE SERVICE モービルサービス 三条市猪子場新田270-6 TEL(0256)46-0029

夏SALE開催 ミニワ 三条市神明町三三四四〇五二